

考える翼 考える根っこ



行ってみたい
挑む (いどむ)



知りたい
究める (きわめる)

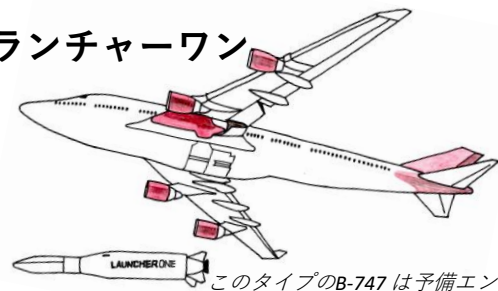


匠 (たくみ) をめざす
創る (つくる)



YACリーダー
団員の心に火をつける

ランチャーワン



このタイプのB-747は予備エンジンを輸送するために、5つめのエンジンを取り付ける仕組みがあったそう

- ・飛行機のスピード、高度が利用できる。
- ・ロケットはうまく飛行機から離れる必要。
- ・正確に誘導する必要
- ・利用できる海面近くの飛行場？

2021年の1月も、あとなずかです。新型コロナウイルス感染症は心配をますます深めています。新型コロナウイルス感染症対応のため、このYACかわら版を始めたのですが、もうすぐ1年です。

このYACかわら版は、宇宙に関心をもつ団員のみなさんを応援しようと始めました。団員のみなさんが知的にも一層元気になることを期待しています。

そのために、挑む (いどむ) 究める (きわめる)、創る (つくる) というYACが大切にしている心に火をつけることを期待しています。

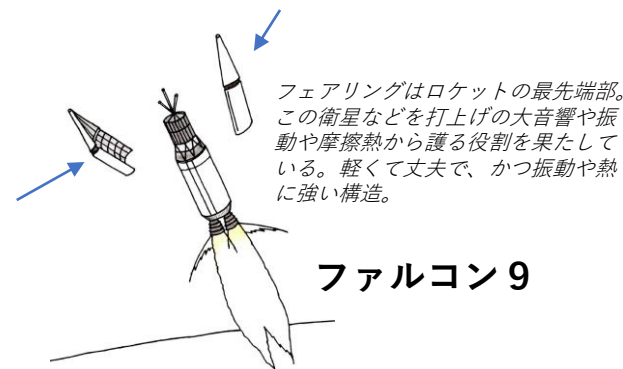
みなさんが、考える翼、考える根っこをこの紙面で育ててください。

絶好の考える題材をイラストにしてみました。

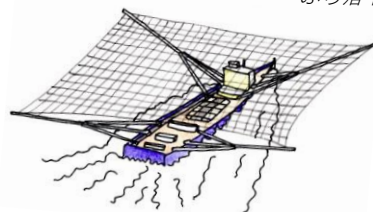
- ・落下する場所を推定し高速で移動する必要。
- ・風は変化する。
- ・フェアリングを再利用するためには、海水から守ることが重要という。
- ・ケネディスペースセンターの近くのカナベラルポートも回収船の母港になっている。

YACかわら版で感じた「おや」「まあ」「フーン」

いろいろなこと結んで考える
深めて考え続ける
友だちにお話しして広めて考える



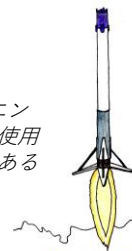
ネットを広げすごいスピードでぶらぶら落下するフェアリングを回収



ファルコン9



1段目ロケットエンジンは10回以上使用しているものもあるそう



台船の正確な誘導

丈夫そうな足？

*イラストは呉やまと分団臼井崇リーダー